小5理科 花から実へ（受粉） No.2

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　顕微鏡を使うとき、目を痛めてしまう危険があるため、使ってはいけないのはどのような場所ですか。

- ○ 教室の窓から離れたところ
- ○ 日かげの明るいところ
- ○ 日光が直接当たるところ
- ○ 電灯の光が当たるところ

問2　顕微鏡などでいろいろな植物の花粉を観察したとき、花粉の形や大きさにはどのような特徴がありますか。

- ○ すべての植物で、同じ形や大きさになっている。
- ○ 植物の種類によって、形や大きさがちがう。
- ○ 花の種類に関係なく、丸くて同じ大きさである。
- ○ 季節によって、すべての花粉が同じ形に変化する。

問3　ヘチマやカボチャなどの植物において、花粉は主に何によって運ばれますか。

- ○ ミツバチなどの虫
- ○ 強くふく風
- ○ 地面を流れる水
- ○ 土の中にいるミミズ

問4　めばなとおばながある植物のなかまで、ヘチマのほかにあてはまる植物の組み合わせはどれですか。

- ○ タンポポとアブラナ
- ○ アサガオとヒマワリ
- ○ チューリップとサクラ
- ○ カボチャとツルレイシ

問5　花粉は、花のどの部分の先についている粉ですか。

- ○ がく
- ○ 花びら
- ○ おしべ
- ○ めしべ

問6　次の植物の命となる種子は、植物の体のどこに含まれていますか。

- ○ 花が咲いたあとにできる実の中
- ○ 最初にのびる葉の先
- ○ 地面の下にある根の先
- ○ 花が咲く前のつぼみの中

問7　ヘチマと同じように、めばなとおばなの２種類の花が咲く植物はどれですか。

- ○ ツツジの花
- ○ オモチャカボチャの花
- ○ サクラの花
- ○ アサガオの花

問8　花粉がミツバチなどの虫によって運ばれる植物はどれですか。

- ○ ヘチマ
- ○ スギ
- ○ マツ
- ○ イネ

問9　受粉とは、どこにある何が、どこにつくことですか。

- ○ おしべの先にある種子が、めしべの先につくこと
- ○ めしべの先にある種子が、おしべの先につくこと
- ○ おしべの先にある花粉が、めしべの先につくこと
- ○ めしべの先にある花粉が、おしべの先につくこと

問10　花が実や種子をつくるために、めしべの先に花粉がつくことを何といいますか。

- ○ 発芽
- ○ 受粉
- ○ 開花
- ○ 光合成

問11　花が咲いたあとに受粉しなかった場合、その花はどうなりますか。

- ○ 実だけができて、種子はできない。
- ○ 種子だけができて、実はできない。
- ○ 実も種子も両方できる。
- ○ 実も種子もできない。

問12　花が咲いたあとにできる実の中に含まれている、次の植物の命となるものは何ですか。

- ○ 種子
- ○ 花粉
- ○ めしべ
- ○ 根

問13　花のつくりの中で、先がねばねばしていて、花粉がくっつくようになっている部分はどこですか。

- ○ 花びら
- ○ おしべ
- ○ めしべ
- ○ がく

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう